

愛媛県側9つの自治体と大分県側9つの自治体で新たな経済圏の循環などを目的に相互交流を図っており、その一環として、お互いの広報誌の相互掲載を行っています。今回は「日出町」です。海の向こうに目を向けてみましょう。



# これが由布市に伝わる庄内神楽です！

## 庄内子供神楽座について



昭和51年、伝統芸能の継承と青少年の健全育成を目的に結成されました。庄内町の小・中学生で構成され、日々、練習に励んでいます。各地域のお祭り、イベントのアトラクション、福祉施設の慰問等に年間60回程度出演しています。

これまでに、大分県神楽大会や、島根県で開催されたこども神楽フェスティバル等にも出演し、東京都で開催された全国こども民族芸能祭には、九州・沖縄ブロック代表として出演したこともあります。

## 庄内神楽とは



安永7年(1778年)に世襲神職による神楽の奉納が行われたと言われている、大分県由布市に古くから伝わる神楽を指します。今のような形として始められたのは明治時代の初期のことです。当時の政府により神職が神楽を舞うことが禁じられ、氏子等が引き継いで舞うようになり、その時に伝承されたものと言われています。

## 主な活動内容

### 5～10月 庄内神楽定期公演

5～10月の第3土曜日の午後6時から庄内の神楽座が持ちまわりで月1回の定期公演を行っています。



### 11月3日 庄内神楽祭り

毎年11月3日(文化の日)に、庄内町総合運動公園で庄内神楽祭りを開催しています。庄内神楽を継承する町内の神楽座のほかに、地元の保育園児や高校生などの多くの神楽団体が一堂に会し、一日中神楽三昧で過ごすことができます。



### 1月2日 庄内神楽新春初舞

1月2日に新年最初の神楽公演を行います。この日は、庄内神楽の代表的な演目を奉納します。

